

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 29 [2017] 年度 第 1 回 (書面会議) 議事録

日 時	平成 29 [2017] 年 4 月 20 日 (木)	場 所	[書面会議]
-----	-----------------------------	-----	--------

出席者			資料 番号	配 付 資 料
部長	松本 樹典	○	1 29.1.0	平成 28 年度 [2016 年度] 第 6 回基準部会議事録案
理事	仙頭 紀明	○	1 29.1.1	平成 28 年度予算執行状況、書籍売上・在庫数、
幹事	峯岸 邦夫	○	1 29.1.2	平成 28 年度事業報告「まえぶん」
部員	浅田 素之	○	1 29.1.3	過酸化水素水による土及び岩石の酸性化可能性試験方法(JGS 0271-2016) 発刊 定価検討表、見積書
部員	伊貝 聡司	○	1 29.1.4	コルゲートメタルカルバートマニュアルの増刷
部員	海野 寿康	○	1 29.1.5	理事会 (H29/3/17) 開催報告
部員	大向 直樹	○	0 29.1.6	規格・基準に関する細則
部員	小早川博亮	○	1 29.1.7	地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法基準公示に対する意見への回答
部員	肴倉 宏史	○	1 29.1.8	国交省からの JIS 英訳版に関する依頼
部員	佐藤 毅	○	1 29.1.9	工業標準化法第 1 2 条による申出用事前調査表 (室内 17 規格)
部員	高柳 剛	○	1 29.1.10	経産省受託事業支出報告 (ISO/TC190/SC3/WG10)・成果報告書概要版
部員	浜田 英治	○	1 29.1.11	経産省受託事業提案書 (TC182 国内専門委員会 広域地盤特性 WG)
部員	平井 貴雄	○	1 29.1.12	JIS A 1221 正誤表
部員	藤原 照幸	○	1 29.1.13	優良事業所証明制度について (概要)、技能試験過去 4 年間連続実施機関調査一覧表 (H25~H28)
部員	宗像 保男	○	1 29.1.14	
※	中川 直		1 29.1.15	
			29.1.16	
事務局	齋藤/長尾	○	2 29.1.17	
			29.1.18	

※オブザーバー

* : 本年度新任

○ : 出席

☆ : 出席 (電子会議)

◎ : 代理出席

× : 欠席 (回答なし)

回覧-1

回覧-2

回覧-3

審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料—29.1.0, pp.1-6)
一部 (p.4、下から1行目“WG13に確認”を“WG14に確認”) 修正することで、承認された。
2. 全体関係 (資料—29.1.1, pp.7-8)
 - (1) 予算執行状況、書籍売上・在庫数 (資料—29.1.1, pp.7-8)
・3月月次収支の配付がまだのため、予算執行状況は別途報告予定。
原案通り、承認された。
 - (2) 平成29年度事業計画「まえぶん」[メール審議済] (資料—29.1.2, p.9)
原案通り、承認された。
 - (3) その他
特になし
3. 委員等の異動
 - (1) 室内試験規格・基準委員会
特になし
 - (2) 地盤調査規格・基準委員会
特になし
 - (3) ISO国内委員会
【理事会審議】・委員長の交代: 今村 聡 (委員退任) → 浅田 素之 氏
【理事会報告】・ISO/TC190/SC3/WG10 運営 WG
退任: 和田 信一郎 氏(九州大学)、小山 博巳 氏(柴田科学)、松田 耕一郎 (堀場製作所)
いずれも、原案通り、承認された。
 - (4) 地盤設計・施工基準検討委員会
特になし
 - (5) 表記法検討委員会
特になし
 - (6) 技能試験実施委員会
特になし
 - (7) 基準英訳化に関する実行委員会
特になし
 - (8) 部員の異動
【理事会報告】・交代 高柳 剛 氏→中村 貴久 氏 (鉄道総合技術研究所) *6月総会后に交代
原案通り、承認された。
4. ISO国内委員会 関係
特になし
5. 地盤工学表記法委員会 関係
特になし
6. 室内試験規格・基準委員会 関係
特になし
7. 地盤調査規格・基準委員会 関係
特になし
8. 地盤設計・施工基準委員会 関係
特になし
9. 技能試験実施委員会 関係
特になし
10. 基準英訳化に関する実行委員会 関係
特になし
11. 基準部所管刊行物
【理事会報告】 (1) 過酸化水素水による土及び岩石の酸性化可能性試験方法(JGS 0271-2016) の発刊
(資料—29.1.3,

pp.10-11)

- ・新規基準小冊子 100部 定価(案) 1,600円(税別) *会員価格は1割引
原案通り、承認された。

なお、どの程度の販売見込みがあるのか等のコメントがあった。

(2) コルゲートメタルカルバートマニュアルの増刷 **(資料—29.1.4, pp.12-14)**

- ・現在、在庫切れ状態。営業資料として使用している会社からの大口の注文前に増刷するかどうか。
- ・日鐵住金建材の在庫:230部、年間使用は平均20部。購入する場合、部数は50~100部見込。
- ・増刷する場合、部数(100部/約40万円、200部/約40万円、300部/約43万円)

基準部長に印刷部数を一任することで、承認された。

1.2. その他
特になし

報告事項

1. 理事会 **(H29/3/17)** 開催報告 **(資料—29.1.5, pp.15-20)**
2. 全体関係

(1) 規格・基準に関する細則【次回審議予定】 **(資料—29.1.6, pp.21-25)**

- ・平成28年度第6回基準部会での議論をうけての修正案、7月開催部会で継続審議予定。
前回審議時の主な意見を踏まえ、どのように改善されたのかがわかりにくいので、可能な範囲で前回の部会で出された意見を資料として添付して欲しいとのコメントがあった。

(2) 地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法基準公示に対する意見への回答

- ・地盤工学会ウェブサイトへ掲載済 **(資料—29.1.7, pp.27-44)**

(3) 国交省からの JIS 英訳版に関する依頼 **(資料—29.1.8, pp.45-46)**

(4) 工業標準化法第12条による申出用事前調査表 **(資料—29.1.9, pp.47-102)**

- 一覧表中、「土の細粒分含有率試験方法」等(5規格)の分類名に誤りがあり、また、事前調査票の和文名(誤)「突き固めによる土の締固め試験方法」->(正)「突固めによる土の締固め試験方法」が指摘された。

(5) JISC 臨時委員

- ・地盤工学会からの推薦として、塚本 良道 氏(東京理科大学)が継続[部長承認済み]

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

- ・経産省受託事業支出報告(TC190/SC3/WG10 運営 WG) **(資料—29.1.10, pp.103-109)**
- ・経産省受託事業への提案(TC182 国内専門委員会 広域地盤特性評価) **(資料—29.1.11, pp.110-124)**

書面審議のため説明不足で、本件の扱いについて、防災研との実施内容・予算額等の棲み分け、資料に記載されている内容が事業全体なのか、地盤工学会が実施する内容なのか等について理解しづらいところがあるとのコメントがあった。

・2016年度報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)
	助成	受託		
・土木学会	0万円	-	-	-
・日本建設業連合会	0万円	-	-	-
・防災科研(受託研究)*		110万円	○	都度
・三菱総合研究所(国際標準開発事業)		955万円	○	3月
小計	0万円	1,065万円		
合計	1,065万円			

・2017年度予定

(相手先)	(金額)	
	助成	受託
・土木学会	0万円	-
・日本建設業連合会	50万円	-
・三菱総合研究所/経産省(TC182 広域地盤モデルWG)※	-	900万円
・三菱総合研究所/経産省(TC190/SC3/WG10 運営WG)	-	720万円
小計	50万円	1620万円
合計	1670万円	

※防災科研と共同提案中

② 国際会議派遣

- (2) 地盤工学表記法委員会
- (3) 室内試験規格・基準委員会
- (4) 地盤調査規格・基準委員会

① JIS A 1221 正誤表

(資料—29.1.12, p.125)

・4月1日付で作成され、JISCサイトに掲載された旨、経産省から連絡を受けた。

再発防止のための抜本的な方策について、次回部会で議論をしたい旨のコメントがあった。

- (5) 地盤設計・施工基準委員会
- (6) 技能試験実施委員会【次回審議予定】

① 技能試験実施委員会「優良事業所証明制度」について

(資料—29.1.13, pp.126-127)

- (7) 基準英訳化に関する実行委員会
- (8) ウェブページ

4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会

5. 審議中の基準

基準名	担当		承認					刊行
	委員会	WG	部会	理事会報告	公示	理事会	検討結果	
地下水面上の地盤を対象とした透水試験方法基準	調査	10	2015 11/5	2015 11/24	2016 2月号		(HP)	
過酸化水素水による土及び岩石の酸性化可能性試験方法	室内	4			2015 11・12月号	2016 3/15	2016 5月号	
水圧破砕法による初期地圧の測定方法	調査	3	2016 1/7	2016 1/26	2016 4月号			
JIS規格素案(改正)物理特性9件	室内	1						赤本 2019 予定

*地盤工学会ウェブサイト「基準一覽」への掲載

6. 部会・委員会・WG開催状況

常設委員会 6、常設委員会のWG:32(内、受託:2)、JIS原案作成委員会(JSA公募):2、その他:1 計:41

委員会名	長	委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	松本 樹典	4/20(書面)
ISO国内委員会	今村 聡	
・TC182国内専門委員会 ・ 広域地盤特性評価法WG(受託) ・TC190国内専門委員会 ・ 〃TC190/SC3/WG10対応WG(受託) ・TC221国内専門委員会	木幡 行宏 宮田 喜壽 川端 淳一 坂井 宏行 椋木 俊文	4/21
室内試験規格・基準委員会	豊田 浩史	
・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG7 特殊土の試験 ・WG8 赤本改訂版の総説執筆 ・WG9 低透水性土質材料の透水試験方法基準化 ・WG10 「土質試験 基本と手引き」改訂	杉井 俊夫 肴倉 宏史 渡部 要一 澁谷 啓 横田 聖哉 木幡 行宏 風間 基樹 豊田 浩史 西垣 誠 大島 昭彦	4/28
地盤調査規格・基準委員会	末政 直晃	
・WG1 物理探査・検層	斎藤 秀樹	

<ul style="list-style-type: none"> ・WG2 ボーリング・サンプリング ・WG3 地下水 ・WG4 サウンディング ・WG5 載荷試験 ・WG6 現場密度試験 ・WG7 現地計測 ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング ・WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査 ・WG10 地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法 基準化WG ・WG11 動的コーン貫入試験方法 JIS 規格化WG ・ JIS 原案作成委員会 (動的コーン貫入試験方法) ・WG13 水圧破壊による初期地圧測定法の基準化検討WG 	正垣 孝晴 進士 喜英 大島 昭彦 大島 昭彦 三嶋 信雄 上野 将司 江種 伸之 長田 昌彦 西垣 誠	5/16
<ul style="list-style-type: none"> ・WG11 動的コーン貫入試験方法 JIS 規格化WG ・ JIS 原案作成委員会 (動的コーン貫入試験方法) ・WG13 水圧破壊による初期地圧測定法の基準化検討WG 	大島 昭彦 末政 直晃 伊藤 高敏	5/10
地盤設計・施工基準委員会	木幡 行宏	
<ul style="list-style-type: none"> ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土 	本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法委員会	大島 昭彦	
<ul style="list-style-type: none"> ・ JIS 原案作成委員会 (地盤工学表記法) 	大島 昭彦	4/7, 5/19,
技能試験実施委員会	日置 和昭	
基準英訳化に関する実行委員会	竹下 祐二	4/20 (書面),

地盤調査WG10は活動を終了し、WG3に作業を引き継いだため削除、WG15岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化WGを追加して欲しい旨、コメントがあった。

7. その他

(1) 理事会 (平成29年5月19日 (金)) への審議事項・報告事項

・審議 3.委員等の異動、

(2) 総務部会 (平成29年6月2日 (金) 開催予定) への提案事項

(3) 次回以降の部会開催日

・平成29年度第2回：第1案 平成29年 [2017年] 7月日 () 14:30~17:00
 第2案 平成29年 [2017年] 7月日 () 14:30~17:00~

(対応理事会 or 書面)

★ 平成28年度 理事会 開催日程 (予定含む)

① 4月20日 (水) ※書面審議

② 5月17日 (火)

★ 6月8日 (水) 総会/理事会

③ 6月15日 (水) ※書面審議

④ 7月28日 (木)

⑤ 9月29日 (木)

⑥ 10月28日 (金) ※書面審議

⑦ 11月25日 (金)

⑧ 12月22日 (木) ※書面審議

⑨ 1月27日 (金)

⑩ 2月24日 (金) ※書面審議

⑪ 3月17日 (火)

 ⑫ 4月21日 (金) ※書面審議

⑬ 5月19日 (金)

★ 6月9日 (金) 総会/理事会